



【お知らせコーナー】今回担当者：よつ葉施設長（中川）

秋も深まり、朝夕の風に冬の訪れを感じる季節となりました。先日、訪問看護ステーションよつ葉が、東病院主催の「第18回 地域で支える在宅医療の会」にて発表を行った際の取り組みについて、関係機関の皆様やご家族様をはじめ、地域の方々から温かいお言葉や評価をいただく機会がありました。施設内でのケアにとどまらず、訪問を通じて外へ出向くことで、様々な利用者様と向き合うことができ、よつ葉が地域を支える一員として貢献できていることを実感し、大変誇らしく感じています。発表からしばらく経った今も、その反響の大きさに感謝の気持ちでいっぱいです。私たちはこれからも、利用者様の「その人らしい暮らし」を支えるために、チーム一丸となって取り組んでまいります。小さな気づきを大切に、地域とともに歩むケアを続けていきたいと思ひます。

よつ葉施設長：中川貴裕

【空き部屋状況】

<有料老人ホーム>

1人部屋： 6部屋

2人部屋： 1部屋

※2025年11月現在

<訪問事業所>

タイミングにより、ご支援が可能かもしれませんので、まずはご連絡ください。

各事業所からのお知らせコーナー

訪問看護ステーションよつ葉

先日の東病院での事例発表後、一人のケアマネから「末期の方にはケアマネの代行もするんですか」と尋ねられました。癌末期の方は、比較的ADLが保たれるため医療保険での訪問看護と訪問診療のみでかわることが多くあります。最期の数週間でADLが週ごとと日ごとに変化していき、介護保険以外の自治体のサービスや自費サービスを利用することもあれば、急遽介護申請を行う場合もあります。ご家族の受容が追いつかない中でご家族を支え、介護負担の軽減を検討しています。介護保険関連の皆様には急なお願いをすることもあります。いつも早く対応していただき感謝しています。これからもよろしくお願い致します。

管理者：穂吉博子

デイサービスセンターよつ葉

人生は一度切り、大先輩の利用者さんの願い事や思いを大切にをモットーに取り組んでいます。その為に価値あるサービスが提供できるように皆で知恵を出し合い全員が楽しく参加出来る工夫を凝らしています。

10月は畑仕事の得意な利用者さんのアドバイスを頂きながら冬野菜を苗植えを行いました。おやつ作りのホットケーキはふわふわで皆さん美味しく頂きました。様々な活動は脳を活性化させ、学習能力の向上、認知機能の維持、そして自己効力感の獲得に取り組んでいます。

管理者：尾形 孝世

ヘルパーステーションよつ葉

11月23日は「勤労感謝の日」です。この日は単に働く人をねぎらう日ではなく、「働くこと」そのものへの感謝や、お互いの労をねぎらい合うという、社会全体のつながりを意識する日でもあります。介護の現場では、土日祝日に休むことが難しい場合もありますが、週休二日制の中で平日に休みが取れることには良さもあります。平日の外出は人も少なく、旅費や宿泊費も安いことが多く、ランチタイムサービスなどのお得感もあります。私自身も平日休みをゆっくり過ごせる点を気に入っています。今月の23日も、「健康で働けること」への感謝の気持ちを持って、仕事に励みたいと思っています。

管理者：西本 真一

居宅介護支援事業所よつ葉

先日、「私が患者さんの痛みと向き合う時に考えていること」という研修を受けました。主にがん患者様への対応についてのお話でしたが、内容は誰にでも当てはまると感じました。人の話を聞くことは難しく、つい途中で自分の話をしてしまうことがあります。しかし、お相手は必ずしもアドバイスを求めているわけではなく、ただ自分の気持ちに寄り添ってほしいと思っているのかもしれない。そのためにも、まずは自分自身が余裕を持ち、相手の話を最後まで聞き、相手の気持ちに寄り添えるようになりたいと思いました。

管理者：西川玉枝



タオル体操



苗植え



レク



おやつレク



紅葉